

ストレートバンブー(蓬菜竹)を用いた環境修復

■ストレートバンブーの特徴

- ①横茎がないため竹林を形成しない
- ②根はまっすぐ下に伸張し、7~10mほどになる。密集する根の土壌緊縛効果がある
- ③レキ質、砂質、粘土質など緑化困難な土質でも適応できる
- ④塩害に強く、ある程度水没しても生育できる
- ⑤窒素、リンなどの吸収力が強い
- ⑥水銀(Hg)、ヒ素(As)などを吸収する



苗を生垣に移植し毎週1回海水を灌水する



密になる根は土砂・レキ等の緊縛効果が高い



1年後の状態(異常なく順調に生育)

■ストレートバンブーの特徴を活かした工法への利用

- ①傾斜地の地滑り防止や送電線鉄塔基盤周りの強化
- ②河川や海岸の護岸強化
- ③水質浄化

河川流域保護

人工的に作られた護岸は崩壊・浸食されやすいが、ストレートバンブーの根が繁殖する過程では全く浸食状況は見られず、またストレートバンブーの根生が根本を固く保つなどの効果も期待されています。(写真は鹿児島県鹿児島市川口川河川)



浸食による浸食不況はない

台風の影響などにより崩壊、土石流発生



■取得している特許

「苗竹生産方法」(特許第3602500号)

「竹の植生を利用した土留め方法」(特許第3413365号)

■問い合わせ先

(株)産木(兵庫県西宮市山口町下山口2-8-15、TEL:078-903-5931(代))

(NPO法人近畿アグリハイテク:office@kinkiagri.or.jp、075-711-1248)